

第 22 回楽しく歴史・文化を探訪する会

晩秋のたたら御三家 ～桜井家・糸原家編～

今年は遅くまで暖かい日が続き、野山の色づきが遅かった。

11月22日会員12名が三刀屋町アスパルに集合し、奥出雲町上阿井の桜井家に向かった。幸いに当日は雨が上がり、沿線の野山はすっかり色づいて癒されながら車を進めると、赤と黄色で綺麗に化粧したモミジが迎えてくれた。

すでにこの企画をコーディネーターしてもらった宇田川さんが到着しておられ、桜井家の前を流れる川の説明から見学が始まった。雨上がりでありながら全く濁りのない水と、川を覆いつくす美しいモミジの紅葉に目を奪われながら、皆スマホを構えシャッターを切ることに専念。

続いて、可部屋集成館に入り、展示内容の概略と桜井家の歴史について、また、最近ではTBS系列で放映された「VIVANT」についても説明を受けた。

桜井家は戦国武将・塙団右衛門末裔家であり、広島 of 可部で製鉄業を開業した後1645年に奥出雲に移転して「可部屋」を屋号とした。たたら製鉄で成功をおさめ江戸時代には松江藩の鉄師頭取として奥出雲の「たたら御三家」と呼ばれた。

江戸時代に建造された母屋を中心に、蔵、金屋子神社、御成門、数寄屋風書院造の御成座敷などからなる9棟が国の重要文化財に指定されている。

資料館の中では桜井家の栄華を誇る貴重な資料がたくさん展示され、宇田川さんのガイドにより理解を深め大いに満足。松平治郷(不昧公)来訪のころに庭園が建造され、庭園の滝は不昧公から「岩浪」と名付けられた。

館を出ると、会員が準備してくれた和菓子で抹茶タイム。

見事なお手前に喉を潤してから、昼食会場の「鬼の舌震茶屋」で、山田さん特製の美味しい弁当とコーヒーでおなかを満ちし、糸原美術館へ。

予定よりおよそ1時間遅れで到着となり、記念館では第16代当主がお待ちかね。

早速、糸原記念館の説明をご当主から直接受けることができ皆恐縮。

記念館には糸原家に伝わる歴史資料や美術工芸品が展示され、主な所蔵品に県の有形文化財でもある藤原定家筆「明月記」断簡はじめ、千利休、松平不昧公、池大雅、円山応挙、長沢蘆雪、田能村竹田、田能村直入など貴重な作品展示だった。

糸原家も桜井家同様松江藩主の本陣宿にもなり、のちに与謝野鉄幹・晶子夫妻、近衛文麿、田能村直入が宿泊した。

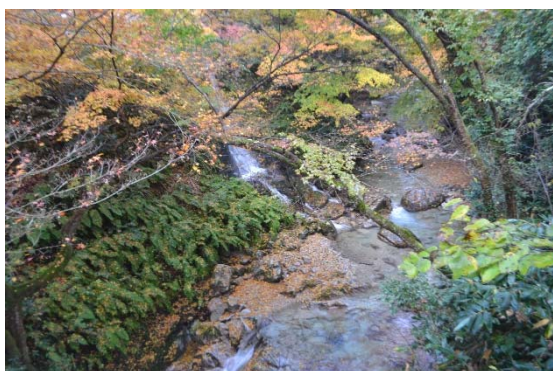
また、庭園は作庭方法として山々の借景や、松平不昧公の庭師沢玄丹の飛石の手法が使われている。

2018年に「糸原氏庭園」として国の登録記念物に登録されている。

この糸原家は映画「絶唱」、TBS テレビドラマ「リーダーズ」のロケ地になっている。
テレビドラマでは、「VIVANT」と同じ福沢監督(福沢諭吉の末裔)がこの地を選び桜井家、糸原家を舞台に選んだ。福沢監督と奥出雲の縁結び役を務めたのがこの視察研修をコーディネートしてもらった宇田川さんだった。

視察先を熟知し、知識も豊富な宇田川さんにガイドしてもらい有意義な研修となったことに対して感謝。

【桜井家】



可部屋集成館前の川



宇田川さんの説明を受ける





【絲原家】



第16代当主